

第6章

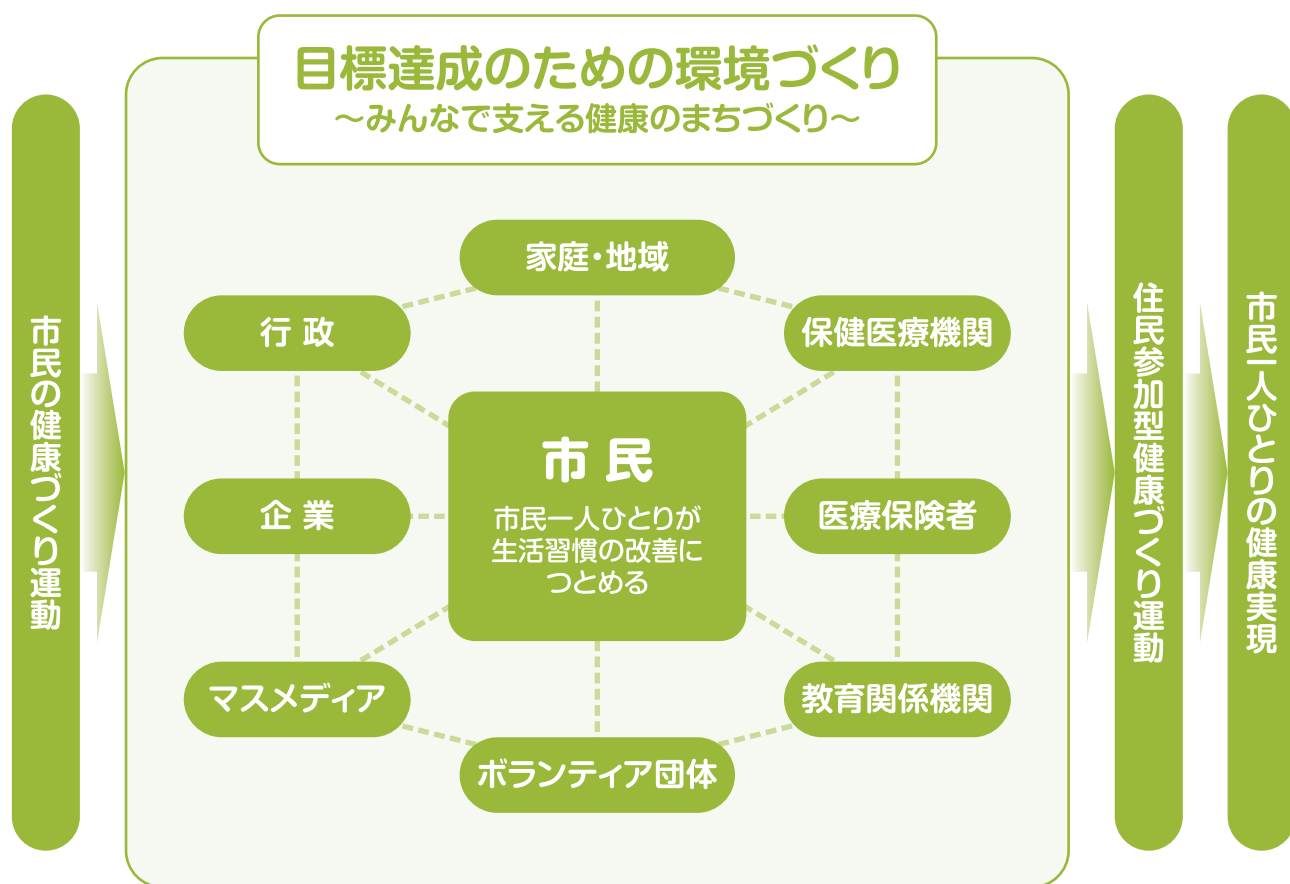
計画の推進体制

第1節 計画の推進体制

個人の健康は、その個人の責任で自らの健康を管理し、改善していく意識づけが重要ですが、個人の努力だけでは達成は難しく、地域社会と環境づくりによって支援されてこそ確保されるものです。

市民一人ひとりの健康像を実現するためには、個人の努力はもとより、行政をはじめ家庭や地域、保健・福祉・医療関係団体、マスメディアおよび企業等の協力・連携のもとに、個人を取り巻くすべての人々の協力が必要です。

たとえ一人ひとりの立場や活動が異なっても、健康を害していても、あるいは体や心に何らかの障害があっても、それぞれが助け合いながら「健康づくり」への取り組みを積極的に支援する体制を整備します。



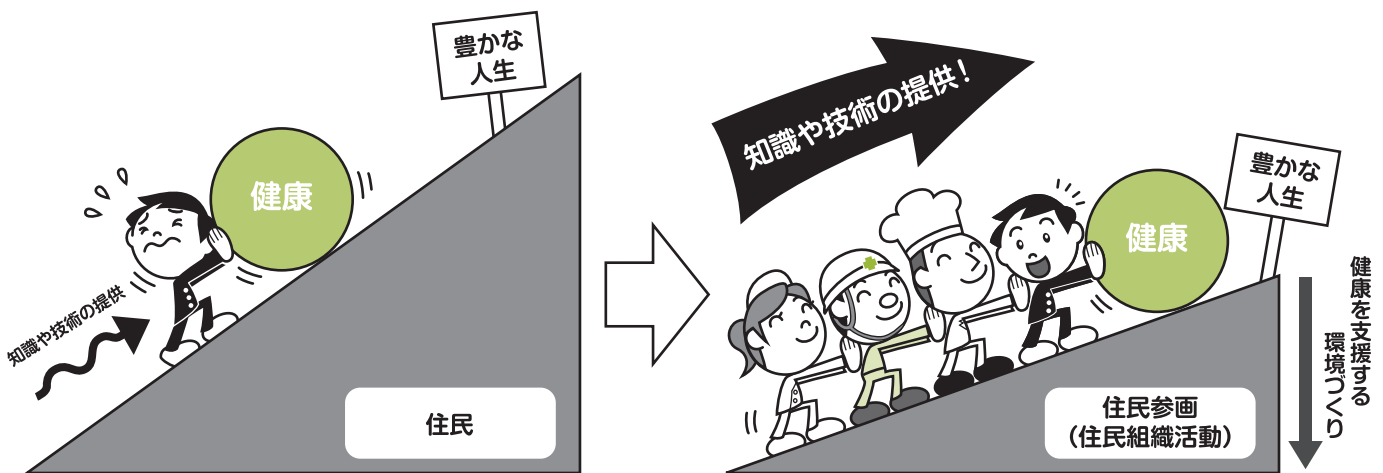
第2節 健康づくりを支える地域活動

第12次秋田市総合計画「県都『あきた』成長プラン」では、基本理念「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」の実現に向けた四つの視点に「市民協働」「家族・地域の絆づくり」を掲げています。

健康は、地域や家族の絆を深め、身近な地域の仲間や組織（学校・地区町内会・民生児童委員・地区社協・地域保健推進員）など、個人を取り巻くすべての人々の協力によって健康をつくり出していくことが大切です。

また、市民の参画により健康づくりを推進することは、単に心や身体の健康だけでなく、様々な活動を通じて「仲間づくり」や「まちづくり」にもつながります。このことにより、一人ひとりが充実した豊かな人生を送ることができるだけでなく、個人や組織の活動が地域の中で広がり、多くの人の健康づくりに影響を与え、地域社会が健康社会となることにもつながります。

誰もが健康で安心して充実した人生を送ることができるように、それぞれの地域社会において、人と人との絆を深め、市民相互の支え合い・助け合いによって、共に生きる社会づくりを推進します。



第3節 計画の推進組織

計画の推進を図るための組織を次のとおりとし、計画を効果的、効率的に推進するため、進捗状況の把握や進行管理、評価を行っていきます。

(1) 健康あきた市21推進会議

学識経験を有する者、保健医療福祉関係者、医療保険者、地域包括支援・ボランティア関係者、教育関係者、マスコミ関係者、市民代表などで構成する推進会議において、計画の推進内容や進捗状況について検討を行い、健康づくり施策に反映していきます。

(2) 健康あきた市21庁内連絡会

施策を健康という観点から横断的に検証するため、庁内連絡会を設置し、各部署が連携して健康づくりの取組を推進します。

注1) 健康あきた市21推進会議

健康あきた市21の適切な進行管理と効果的な推進を目的として、市民代表、学識者などで構成する会議。平成16年8月1日設置。

注2) 健康あきた市21庁内連絡会

健康あきた市21の円滑な推進を目的として、庁内の関係課所室長で構成する会議。平成24年6月7日設置。

第4節 健康づくりを推進する場とそれぞれの役割

人はライフステージに応じて、家庭や地域、学校、職場など様々な場で社会生活を営んでいます。市民が生涯を通じた健康づくりを進めるためには、それぞれの場でその特性に応じた健康づくりを推進する必要があります。

(1) 家庭

家庭は、個人の生活の基本的単位であり、乳幼児からの生涯を通じ正しい生活習慣を身につける重要な役割を持っています。また、家庭は健康の重要性を学習するとともに、安らぎの場でもあるため、家族ぐるみで健康づくりに取り組む必要があります。

(2) 地域

この計画を推進するにあたっては、一人ひとりの生活の場である地域での自主的な取り組みが重要な意義を持っています。個人の健康は、社会的な仕組みに影響されることが多いため、市民の健康に関わる社会環境の改善、自然環境を守るといった活動を通じて、より健康的な地域づくり・まちづくりを進めることが必要です。

(3) 学校

学校は、少年期から青年期にかけて多くの時間を過ごし、健康教育を通じて健康観の確立や、望ましい生活習慣の習得の場として重要な役割を担います。そのため、児童・生徒や学生に対して健康に関する学習の機会を増やし、自分の意思で適切な判断や行動をとれるよう、健康教育の充実が望まれます。

(4) 職場

就労している市民の多くは、職場で多くの時間を過ごしており、労働環境や、職場のコミュニケーションの改善といった健康づくりの支援体制を整備し、産業保健の向上をはかることが重要です。

法令等に基づく健康診断の実施はもちろんのこと、健全な職場環境の確保のもとに完全分煙・禁煙など、受動喫煙対策への取り組みなどが望まれます。

第5節 推進主体の基本的な役割

この計画のもつ意義は、単に目標値を定めることではなく、健康づくりの目標についての市民が共通の認識を持ち、共に健康づくりを推進していくことが重要になります。

そのために個人、地域、学校、企業および行政機関等が、それぞれの立場の特色を生かして補い合い、密接に連携をはかりながら、社会全体で健康づくりを推進していくことが必要となります。

(1) 市民

健康づくりは、個人の努力と実践が基本となります。健康の大切さを再認識し、正しい知識をもって健康的な生活習慣を実践し、自分の健康を実現することが求められます。

市民一人ひとりの行動や生活スタイルが、周囲の人の健康や地域コミュニティ、自然環境などに影響を及ぼすことを自覚し、これらの環境に配慮した生活行動が求められます。

健康づくり活動をはじめ、地域で様々な活動に参加することは、一人ひとりの健康づくりを支えるとともに、運動の輪を広げる原動力となります。地域における健康づくり活動に積極的に参加するなど、市民主体の「健康のまちづくり」に取り組む必要があります。

(2) ボランティア団体・NPO(非営利団体)

ボランティア団体やNPOは、柔軟で先駆的な活動に取り組むことができ、活動を通じて多方面にわたり多くの人々とながらつながることができ、健康に関する情報やサービスを身近にきめ細かく提供することや、これらの相互の連携、情報交換、ネットワーク形成による効果的なサービス提供が期待されます。

(3) 企業

健康づくりのための活動の場や機会の確保、地域社会の一員として地域への関心を深め、地域活動などに積極的に参加することが期待されます。

(4) マスメディア

マスメディアは、不特定多数の人々を対象に、大量の情報を迅速に伝えることができ世代を問わず大きな影響力を持っています。また、最近の健康情報は、マスメディアによるところが多く、特に青少年に対して強い影響力を持つことから、健康づくりの必要性や科学的根拠に基づいた正確な情報を伝達する役割が期待されます。

また、市民が健康づくりに主体的に取り組むことができるよう、意識啓発に配慮した情報提供が期待されます。

(5) 保険者

国民健康保険、健康保険組合、共済組合などの保険者は、被保険者の健康の保持・増進をめざした保健事業の充実、強化をはかるとともに、行政と連携し、より効果的かつ効率的な活動を展開していくことが求められます。病気のリスクを減らすために被保険者の健康づくりや健康診査の事後指導などの充実、強化が期待されます。

(6) 秋田市

秋田市には、この計画を効率的に推進するため、健康づくりの気運の醸成につとめるとともに、市民の健康づくりや、地域保健推進員などの地域活動の支援、健康づくり対策の調整・推進の役割が求められます。このため、次のような活動に重点的に取り組んでいきます。

- 誰もが健康で安心して充実した生活を送ることができるように、家庭や地域、社会の絆を深め、市民相互の支え合い・助け合いによって、共に生きる地域づくりにつとめます。
- 市民の健康づくりを進めるため、手軽にいつでもどこでも健康づくりができるよう、正しい健康情報の提供や健康づくりための環境整備をはかるなど、健康づくりのための「まちづくり」につとめます。
- 生涯を通じた健康づくりを積極的に推進するため、生活習慣の改善に取り組む市民に対し、様々な機会を捉えて健康に関する学習機会と場を提供します。
- この計画に掲げる目標値の達成状況を評価するための調査等を実施するとともに、中間評価、最終評価において秋田市の取り組みを検証し、健康づくり施策の見直しと市民の健康づくりを支援できる体制を整備します。